

富士ゼロックスのものづくりは、  
ネジをはずすことから始まる。

製品は、分解すると部品になる。富士ゼロックスは、使用済みの機器を貴重な資源と捉え、最大限有効活用。再使用することを前提に、新商品の設計を行なっています。このようなCO<sub>2</sub>削減を目指す独自の環境哲学により、部品リユースを中心とした「資源循環システム」を構築。2000年度～2007年度の累計では、154,150t-CO<sub>2</sub>ものCO<sub>2</sub>排出量抑制を実現しました。また、環境負荷低減と共に質の高いものづくりを徹底するため、さまざまな再使用ノウハウを蓄積。より丁寧に簡単な解体を可能に。最新機種にも分解設計を採用するなど、リユース品質を追求しつづけています。リユース部品活用生産台数は、1996年度～2007年度までの累計で、30万台を突破。「もう一度つかう」は、「新しくつくる」より、はるかに創造的だ。私たちが製品と共につづけているのは、CO<sub>2</sub>を抑えるしくみです。

減らせ、CO<sub>2</sub>  
環境哲学  
富士ゼロックス

リユース品質を支える設計思想